

## 社会科学学習指導案

3年2組 塩根 航平

## 1. 単元名 「大阪市のようすのうつりかわり—大阪市の歴史と進歩、そして未来—」

「社会的事象をもとに考えを深め合いながら未来をそうぞうする子ども」  
～対話を通して人・もの・ことにアプローチし、よりよい社会を考える実践～

## 2. 単元設定の理由

## (1) 単元について

本学級の児童は1学期に学習した「わたしたちの大阪市」の単元の終末に、大阪の名物やよさが詰まった「OSAKA めっちゃええで館」という架空の店の社長となり、どこに建てるのかについて考える授業を行った。話し合う際、「商店街の近くに建てたら人が多く集まる」「上町台地は土地が高く、津波の心配がないから安全だ」などと、子どもは大阪市のそれぞれの場所の特色を根拠にしながら発言することができた。2学期には、その店でどのような工夫をするのかについて考えた際には、「調理する人の帽子や手袋の着用を徹底する」「スペースを大きく作り、車椅子を通りやすくする」など、学習したスーパーマーケットの工夫を転用させて考え、発言することができた。このように、よりよい社会を考えていく際に、学習したことを根拠にしたり転用したりして考え発言することは概ねできている児童が多い。しかし、友だちの考えを聞き、受け入れ、新たな考えを創出していくところまでには至っていない。

本単元は、生活の道具や公共施設、土地利用、人口、交通などの時代（時期）による違いに着目して、大阪市や人びとの生活の様子を捉え、それらの変化を考え表現することを目標としている。本時では、人びとの生活をよりよくしていくためにはどうすればよいかについて、「交通」「公共施設」「イベント」の視点で考えていく。それらを考えることで、これまでそれらが人びとに与えた影響への理解を深め、未来の大阪市について考える機会となる。まずは個人で考えた後グループ交流の時間を設け、出た考の中からよりよいものを三つ選ぶようにする。そうすることで、どの考えがよりよいか対話しながら、根拠を明らかにし、価値判断・意思決定できるようにする。

## (2) 単元の目標

学習指導要領の資質・能力		そうぞうの実践力が 発揮された姿
主体的に学習に 取り組む態度	・大阪市の発展を願い、市民の1人として努力や協力できることを考えようとしている。	大阪市のようすの移り変わりについて、学習したことをもとに、人びとのくらしをさらによくしていくためにはどうすればよいかについて、対話をしながら、新たな考えを導き出し、表現したり、実生活に活かそうとしたりする。
思考・判断・表現	・学習したことをもとに、人びとのくらしがさらに良くなっていくために、未来の大阪市はどんなにいいかについて考え、その理由とともに文章で記述したり、話し合ったりしている。	
知識・技能	・生活の道具や公共施設、土地利用、人口、交通などの変化を捉え、大阪市の人びとの生活の様子は、時間経過に伴い、移り変わってきたことを理解する。	

## (3) 活動構成の仮説

○未来に向けて価値判断・意思決定する場の設定を工夫することで、そうぞうの実践力を発揮することができる。

人びとの生活をよりよくしていくためにはどうすればよいかについて、「交通」「公共施設」「イベント」の視点で考え、グループ交流で出た考の中からよりよいものを三つに選ぶという活動の場を設定することで、根拠を明らかにしながら価値判断・意思決定することができる。

### 3. 指導計画（全11時間 本時11時間目）

問題解決の流れ	子どもの意識	教師の役割	評価			
<p><b>課題把握</b></p> <p>1. 昔の人のくらしについて調べ、現在の人びとのくらしとの違いについて考える。(1時間)</p> <p>2. 洗濯の仕方の移り変わりについて調べ、道具の移り変わりがもたらした人びとのくらしの変化について理解する。(4時間)</p> <p>3. 大阪市の昔と今の様子を比べ、学習計画を立てる。(1時間)</p> <p><b>課題追究</b> <b>課題解決</b></p> <p>4. 大阪市の公共施設や人口、交通の移り変わりや土地利用、出来事などについて調べ、人びとのくらしの変化について理解する。(4時間)</p> <p><b>新たな課題</b></p> <p>5. 未来の大阪市の人びとの生活をさらに良くしていくためには、どうすればよいかを考える。(1時間)</p>	<p>昔の人びとはどんな生活をしていたのかな？</p> <p>今の私たちとは全然違う生活をしていたんだね。</p> <p>洗濯に時間がかかっていたけど、どうしてかな？</p> <p>昔はどうやって洗濯をしていたのかな？ また洗濯の仕方はどのように変わってきたのかな？</p> <p>洗濯板とたらいで洗濯していた頃は時間がかかったんだね。</p> <p>洗濯の仕方が変わって、時間に余裕ができて女性は働きに行けるようになったんだね。</p> <p>大阪市の昔と今ではどんな違いがあるのかな？</p> <p>交通の様子や建物が今と全然違うね。</p> <p>人びとの服装も全然違うよ。どんな風に変化していったのかな？</p> <p>大阪市は100年間の間にどのように移り変わってきたのかな？</p> <p>動物園ができて、人々は楽しみが増えたんだね。</p> <p>戦争があった頃の子どもは疎開をしていて、寂しい思いをしていたんだね。</p> <p>交通が発達して、人びとのくらしは便利になったんだね。</p> <p>1970年の大阪万博は世界中の人が参加したんだね。人びとも嬉しかっただろうな。</p> <p>人びとの生活をさらに良くしていくためには、どうすれば良いのかな？</p> <p>道具をさらに進化させていくと、もっと時間に余裕ができていろいろなことができるようになっていくよ。</p> <p>万博のようなイベントをたくさん開催して、もっと世界の技術を取り入れたらいいと思うよ。</p>	<p>○約60年前のお母さんと小学生の1日の生活の資料を提示することで、洗濯の時間が多いことに気付くようにする。</p> <p>○「洗う」「しぼる」「乾かす」という工程がどう変わってきたのかに着目させ、洗濯の道具の移り変わりを調べるようにする。</p> <p>○同じ場所で撮影した昔と今の写真を比較し、「公共施設」「交通」「人口」「土地利用」などに着目させ、学習計画を立てるようにする。</p> <p>○「公共施設」や「交通」、「人口」「土地利用」の100年間の変化が分かる資料を提示し、それによって人びとの生活がどのように変わってきたのかを考えられるようにする。</p> <p>○グループ交流で出た考えの中からよりよいものを三つに選ぶという活動の場を設定することで、根拠を明らかにしながら価値判断・意思決定できるようにする。</p>	<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>●大阪市の人びとの生活の移り変わりについて学習問題を見出し、見通しをもって主体的に学習問題を解決しようとしている。</p> <p>●大阪市の発展を願い、市民の1人として努力や協力できている。</p>	<p><b>思考・判断・表現</b></p> <p>●交通の整備、公共施設の整備、人口の変化、土地利用の変化、道具の変化などを相互に関連付けたり、人びとの生活の変化と結びつけたりして考えている。</p> <p>●学習したことをもとに、人びとのくらしがさらに良くなっていくために、未来の大阪市はようになっていけばよいかについて考え、その理由とともに文章で記述したり、話し合ったりしている。</p>	<p><b>知識・技能</b></p> <p>●生活の道具や公共施設、土地利用、人口、交通などの変化を捉え、大阪市の人びとの生活の様子は、時間経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。</p> <p>●聞き取り調査をしたりや写真資料や文書資料などを調べたりして、年表などにまとめる。</p>	<p><b>そうぞうの実践力</b></p> <p>●大阪市のようすの移り変わりについて、学習したことをもとに、人びとのくらしをさらに良くしていくためにはどうすればよいかについて、対話をしながら、新たな考えを導き出し、表現したり、実生活に活かそうとしてしている。</p>